

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年05月19日

計画の名称	和歌山市における住環境の向上（第2期）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	和歌山市												
計画の目標	市内の住宅の安全性、耐久性及び居住性を向上させ、市民が安心して住み続けられる住まいづくり及び住環境の向上を図る。 ・老朽化した市営住宅において、現在の生活水準に合わせた建替えを行う。 ・市営住宅の長寿命化修繕を行い、建物の長寿命化を図るとともに、入居者の居住性及び安全性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,433	A	2,409	B	0	C	24	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.98	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	市営住宅のバリアフリー化率 市営住宅においてバリアフリー化されている住宅の割合 (バリアフリー化されている住宅戸数) / (管理戸数)	6%	%	9%
2	市営住宅の長寿命化率 長寿命化計画に基づく長寿命化修繕を実施した住宅の割合（平成30年度からの進捗状況） (長寿命化計画に基づく長寿命化実施住宅数) / (長寿命化計画に長寿命化実施を位置づけた住宅数)	0%	%	38%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅整備事業等)	公営住宅の建替等	和歌山市						1,547		策定済
	A15-002	住宅	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(公営住宅整備事業等)	公営住宅等ストック総合改善事業	和歌山市						200		策定済
	A15-003	住宅	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業等)	更新住宅の整備等	和歌山市						506		策定済
	A15-004	住宅	一般	和歌山市	直接	和歌山市	-	-	地域住宅計画に基づく事業(住宅地区改良事業等)	改良住宅ストック総合改善事業	和歌山市						156		策定済
											小計						2,409		
											合計						2,409		



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

本市にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年5月

公表の方法

和歌山市ホームページにて公表する

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

建替えや長寿命化修繕を実施することで、市営住宅の安全性、耐久性及び居住性を向上することができた。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

引き続き和歌山市営住宅長寿命化計画に基づいた事業を実施し、安心して住み続けられる住まいづくり及び居住環境の向上を目指す。

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	9%
	最終実績値	10%
計画に基づき事業を実施し、目標を達成した。		
2	最終目標値	38%
	最終実績値	23%
老朽化状況等を鑑み事業を進めた結果、長寿命化実施住宅数が予定より少なくなったため、目標値に届かなかった。		

